

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【公開番号】特開2000-263588(P2000-263588A)

【公開日】平成12年9月26日(2000.9.26)

【出願番号】特願平11-74126

【国際特許分類】

**B 29 C 45/16 (2006.01)**

【F I】

B 29 C 45/16

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月17日(2007.7.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】溶融した第1の樹脂を所定の注入部から注入してキャビティ内にて冷却固化してなる本体部と、溶融した第2の樹脂を該第1の樹脂と同一の注入部から該注入部上方の第1の樹脂を破って注入して冷却固化して該本体部の少なくとも一部表面を被覆してなる付加部とを有することを特徴とする二色樹脂成形品。

【請求項2】請求項1に記載の二色樹脂成形品の製造方法であり、溶融した第1の樹脂を所定の注入部からキャビティ内に注入して本体部を形成した後、該キャビティ内に所定の空間部を形成して、溶融した第2の樹脂を該第1の樹脂と同一の注入部から該注入部上方の第1の樹脂を破って該空間部に注入して該本体部の少なくとも一部表面を被覆する付加部を形成することを特徴とする二色樹脂成形品の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は二色樹脂成形品に関し、当該二色樹脂成形品は、溶融した第1の樹脂を所定の注入部から注入してキャビティ内にて冷却固化してなる本体部と、溶融した第2の樹脂を該第1の樹脂と同一の注入部から該注入部上方の第1の樹脂を破って注入して冷却固化して該本体部の少なくとも一部表面を被覆してなる付加部とを有することを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、本発明は当該二色樹脂成形品の製造方法であり、溶融した第1の樹脂を所定の注入部からキャビティ内に注入して本体部を形成した後、該キャビティ内に所定の空間部を形成して、溶融した第2の樹脂を該第1の樹脂と同一の注入部から該注入部上方の第

1の樹脂を破って該空間部に注入して該本体部の少なくとも一部表面を被覆する付加部を形成することを特徴とするものである。